



卒業 おめでとう

3年生が残したものの。それは日常の営み、継続することの強さ。

今年の3年生は全体的に「おとなしい」と感じるものがよくありました。職員の授業の感想でも同じようなことが語られることもありました。しかし、この学年の凄さは、その特徴を個性として、地道に日常から積み上げていく強さに変えていったことだと思っています。

右は、3年生が特別教室で学習している時の空いた教室の様子です。

机を整えて教室を後にする日常がこの学年にはありました。下側の写真は3限目の様子です。4限目も特別教室での学習なので、既に給食の準備をして教室を後にしています。お互い声をかけたり、日頃そうするのが当たり前であったりしているのでしょう。



そんな3年生がいよいよ明日、卒業します。

「母校」といってもまだピンとこないかもしれません。しかし、3年間喜びや悲しみを共にし、時には対立したであろう仲間と過ごした学び舎は、静かに卒業生を見守っています。

英知 友愛 躍動



在校生に期待すること！

年度が明ければ新入生が入学してきます。新たな立花中の文化の担い手は現1、2年生が中心となります。3年生が残したよい文化を受け継ぎ、改善すべきは改善して継承していくことで、伝統が築かれます。

立花中を担う一員としての意識を持つことが、いずれ社会の一員として生きていく自分の人生を豊かにすることにつながります。



3年生を送る会の1、2年の出し物

真剣な面構えと目 -真面目-

真面目であること、実直であること。それは派手であることと比べると、面白味には欠けるかもしれませんが、何となく心を安心させてくれる、ほっこり感を与えてくれます。

3年生の生徒会執行部は、全校集会の度に、伝える内容を覚えて、みんなの方を見て訴える文化を築いてくれました。3年生を送る会を企画して始めたのもこの学年です。

日常の清掃では、服が汚れるのもいとわず、ひざまずいて拭き掃除をしてくれました。集団として様々な課題を乗り越えながら、最後には「ちゃんとやろう！」という雰囲気をつくってくれました。



3月6日・7日に行われた福岡県公立高等学校一般入試では、受検者全員がつつがなく日程を終えることができました。

1、2年の皆さんは入試問題を見ましたか？どの教科も「考え方を問う問題」や「知っていることを組み合わせる問題」が多く見られました。

日常の学習で、それらの問題にも対応できるような構えが必要です。自分の学習を一度見つめ直してみましょう！



前号で紹介したざぶん賞受賞者のうち、全国表彰だった黒木小3年の森さんと本校3年の中嶋さんが、八女市教育委員会の橋本教育長を表敬訪問しました。

訪問の様子は広報八女の4月号に掲載される予定です。

